

戦略産業クラスター計画の素案 (各地方ブロックの統合版)

2026年5月

戦略産業クラスター計画の素案について

<策定プロセスや取扱い>

- 「戦略産業クラスター計画の素案」（以下単に「素案」という。）は、各地方経済産業局が中心となり、関係府省の地方支分部局の協力の下、産業界、自治体、教育界等からなる「戦略産業クラスター有識者検討会」において、ブロックごとに策定。
- 国（地域未来戦略本部事務局・経済産業省）は、ブロックごとの「素案」を取りまとめ、副大臣会議にて報告する。
- 今後、国は、日本成長戦略本部で策定される分野別の「官民投資ロードマップ」と「計画の素案」の両方に整合するプロジェクト提案を都道府県から受け付け、「素案」を基に「戦略産業クラスター計画」を策定する。
- 以降、2030年頃まで、半期に1回程度の頻度で、各ブロックにおいて「素案」の更新を行うとともに、予算等の調整状況等に応じて、「戦略産業クラスター計画」本体を更新する。

<機能>

- 地域の経済発展等の観点から、地域の特性を踏まえ、クラスター形成が望まれる地域・分野を特定するもの。
- クラスター形成に向けて必要となる課題や政策ニーズについて関係者の意見をとりまとめるもの。
- したがって、「素案」に記載された内容は、政府としてコミットメントしたものではないことに留意。

※2026年5月18日時点